

病と健康をめぐる

中野重行 ニンゲン学

大分大学医学部で行われた「ワークショップ・豊の国医療コミュニケーションの集い」。ロールプレーは医療者、患者、観察者の三つの役を経験できるよう、3人一組で取り組んでいる



らです。

室町時代に猿楽(現在の能)を大成した人物に世阿弥がいます。

世阿弥は、舞う時のこつとして「観客が見る役者の演技は、離見(客観的に見られた自分の姿)であり、これを自分自身で見ることができるようになり、自分の見る目が観客の見る目と一

「気付き」が身に付きます。さらに観察者役をすることで医療者と患者の間に生まれる関係を客観的に見る「離見の見」を身に付けることができます。

客観的な視点を身に付けることは、成長し続ける医療者になるために重要な要素になります。私の専門の心身医学の領域でも、心理療法の達人といわれる人の多くは「医療者としての自分と患者との関係を診察室の上のほうから見ている自分がいる」と語っています。「離見の見」は、脳科学の言葉に置き換えると「メ

状況を客観的に見る視点を持つことで、自分と周りの人との関係や自分自身を客観的に見ることができるようになります。そのことで余裕ができ、チームでの作業が円滑に進んだり、ストレスを軽減できるように

「離見の見」の効用

患者との関係を客観視

致する『離見の見』が重要である」と述べています。

ロールプレーでは、医療者役をすることで「コミュニケーション能力」を学びます。患者役をすることで患者の気持ちや立場を疑似体験することになり、良き医療者になる際に役立つ

夕認知」になります。メタ認知とは、人間が自分自身を認識する際に、自分の思考や行動そのものを対象として客観的に把握し認識することを言います。現在進行中の自分の思考や行動そのものを対象化して認識す

なるなど日常生活でも役立つ。夕認知「大局観」は、さまざまな人間関係の中で生活していく際に役立つキーワードです。

(大分大学名誉教授・元同大病院長) 随時掲載

医療者と患者のコミュニケーションを円滑にして信頼関係をつくり、最良の医療を提供するために、私たちは医療コミュニケーションの研修会を開き、医療現場での面接の場面を想定したロールプレーをしています。ロールプレーでは医療者や患者、観察者の三つの役を経験します。観察者役をすることで、状況を客観的に見て全体を把握することが、コミュニケーション能力の向上に重要になるか

医療者になる際に役立つ

ることです。